第 21 校目建設支援予定
老村小学校のイ族の子どもたち

２００８年４月～２００９年３月
事業経過報告

皆様の温かいご協力のもと、２００８年度も国内外において幅広い活動を展開することができました。活動には会員、協力者、ボランティアの皆様が、積極的に意見を交わしながら参加してくださいました。大きな尽力を下さった皆様に、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

- 会員数 592 名（正会員 443 名　賛助会員 54 名
  法人会員 43 名 夢基金会員 52 名）2009/6/1 現在
- 会報発行回数…3 回（第 26 号～28 号）
- メール通信配信…15 回

１、役員会・総会

開催日時	活動内容	参加者名（敬称略・順不同）
2008/5/15 （日本東京）	東京本部にて 第１回役員会	遠藤功理事、唐澤英安理事、大鷲修平理事、初鹿野薫理事、佃純誠監事、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田怜）
6/28 （日本東京）	東京八王子にて 第８回定時総会	初鹿野恵蘭理事長、遠藤功理事、中村有里子理事（司会）、大鷲修平理事、北原茂実理事、初鹿野薫理事、桂正徳理事、唐澤英安理事、佃純誠監事、村松健児監事、東郷浩顧問、小山久子顧問（議長）、片岡巖顧問、根岸恒次顧問、寺内明子（大宮支部長）、近藤釼一（名古屋支部長）、初鹿野仁、初鹿野道子、新木元治、高山信彦、糸仙二郎、佐藤穣、丸藤茂也、平田栄一、藤田文彦、安達武史、近藤和馬、高山千代美、帯川明良、那須英人、狩野千尋、田村ヒロシ、佐藤真治、大塚浩、中村由輝、東京本部（七田）【ボランティア】那須英人・初鹿野仁（カメラ撮影）、中村由輝、狩野千尋、初鹿野道子
12/11 （日本東京）	東京本部にて 第２回役員会	遠藤功理事、唐澤英安理事、大鷲修平理事、中村有里子理事、初鹿野薫理事、桂正徳理事、佃純誠監事、村松健児監事、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田）
2009/1/22 （日本東京）	東京本部にて 第３回役員会	杉谷隆志専務理事、遠藤功理事、唐澤英安理事、中村有里子理事、初鹿野薫理事、桂正徳理事、佃純誠監事、村松健児監事、小澤文穂顧問、片岡巖顧問、東郷浩顧問、山根祥利顧問、近藤釼一名古屋支部長、帯川明良（法人会員)、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田）
3/3 （日本東京）	東京本部にて 第４回役員会	遠藤功理事、大鷲修平理事、中村有里子理事、初鹿野薫理事、桂正徳理事、佃純誠監事、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田、上田亜希子）

２、協会主催・関連行事

2008 年 11 月「小さなカメラマン写真展」
雲南省の支援校の子供たちが初めてカメラを
手にして撮った作品を展示し、大好評でした

2008 年 11 月　四川省大地震救援募金贈呈式
皆様から集まった募金が現地に手渡されました
青少年活動センターの再建資金となります

開催日時	活動内容	参加者名（敬称略・順不同）
2008/4/15 （日本東京）	第２回中国雲南省大自然とともに生きる少数民族の子どもたち～初鹿野恵蘭写真展～	**【ご来場者】**1400 名**【ご後援】**中華人民共和国駐日本国大使館**【企画】**鈴木肇**【事前準備ボランティア】**安達武史、鈴木肇、片岡巖、加藤久、狩野信子、遠間奈津子、水口俊裕、岡隆史、山本忠明、山崎玲子**【当日ボランティア】**糸山敏和、小野保、小川輝夫、鈴木肇、狩野信子、小林光昭、山口了、中村有里子理事、吉村周吾、近藤釼一、安達武史、寺内明子、佐藤啓、並木明、河野一好、中西靖子、松井優里、鎌田寛司、ＪＲ総連の皆様、ＪＲ東海労の皆様**【協力】**株式会社技術評論社 / 昭和情報プロセス株式会社（印刷協力）**【オープニングご挨拶】**于淑媛（中華人民共和国駐日本国大使館・総領事）、李輝（同大使館・一等書記官兼領事、都筑信（元埼玉県副知事）、安仁屋政武（雲南懇話会・会長）
5/3-4 （日本埼玉）	さいたま市国際友好フェア	【ボランティア】小野保、髙橋福子、市川由美子、鳥羽清弘、川口邦夫、青柳茂樹、松尾ユイ、寺内明子（大宮支部長）
7/26 （日本東京）	日中青少年友好交流年 ホームステイ	王梓、楊伯特他北京大学より 100 名【ホームステイ協力】下岡克幸会員ご一家、東郷浩顧問、小山久子顧問、初鹿野恵蘭理事長一家
9/6 （日本山梨）	第４回雲南省教育支援チャリティゴルフコンペ	**【参加者】**120 名　オリムピックカントリークラブ、株式会社技術評論社（片岡巖）、サッポロホールディングス株式会社　(岩間辰志)、東京たまがわロータリークラブ、狛江ロータリークラブ会長（栗山正美）、立川こぶしロータリークラブ、調布むらさきロータリークラブ、株式会社東海（牧田正之）、東京三鷹ロータリークラブ（桜井敏）、株式会社ナイチンゲール（関根冨士子）、NPO 法人 21 世紀のカンボジアを支援する会（根岸恒次）、日経印刷株式会社(山本富造)、日本ケイエム交易株式会社(初鹿野薫)、マミヤＯＰ＆ＵＳＴ、合資会社村上製本所（村上晃一）、メディネットインターナショナル株式会社（三木秀隆）**【ボランティア】**滝澤崇、ＮＯＲＩＮＥ（のりね）、富安朱見、笠置麻未、星かおり、林晨、三木秀隆、牧田正之、初鹿野仁、水口俊裕、日本・雲南聯誼協会より中村有里子理事、遠藤功理事、唐澤英安理事、初鹿野薫理事、東郷浩顧問、曹光顧問、寺内明子（大宮支部長）、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田・梅本霊邦・杉本文子）
9/19-26 （パキスタン）	パキスタン支援ＮＧＯとのエール交換	パキスタン、中国ともに大地震を経験したというつながりから、エール交換の交流を行いました。峰尾勝美、糸山敏和（日本・雲南聯誼協会　会員）
9/21 （日本埼玉）	大宮支部 第２回中秋晩会	**【参加者】**100 名**【ボランティア協力】**鳥羽清弘、笹沼由美子、服部恵美子、小野保、青柳茂樹、小川輝夫、市川由美子、金子沙樹、長澤雪、郭愛花、丸太智代、渡辺瑞、佐野麗子、柳沢愛、寺内憲一、寺内明子（大宮支部長）、七田（東京本部）、中村信（司会担当）、松尾ユイ（楽器演奏）崔高行、鈴木昌子、大平清
10/4-5 （日本東京）	グローバルフェスタ 2008 に出展（５回目）	日本最大の国際協力の祭典。５度目の出展**【来場者】**約 10 万人**【ボランティア】**安達武史、吉村周吾、近藤釼一（名古屋支部長）、近藤森雄、小野保、ＭａｙＭｏｋ、 楊林、太田益富、大塚由子、狩野千尋、初鹿野仁、寺内明子大宮支部長、山本忠明、安達武史、山口信正（２１世紀のカンボジアを支援する会・理事）、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田、梅本、杉本）
10/18 （中国雲南省）	捐贈雲南公益事業授栄大会	協会の教育支援活動が中国雲南省政府に認められ、表彰されました。 初鹿野恵蘭理事長、林娜（雲南支部）
11/1 （日本高知）	高知高専 募金活動	昨年に引き続き、高知高専学園祭にて展示・募金活動が実施されました。 **【ボランティア】**高野弘（日本・雲南聯誼協会会員）、アースデイ部の皆さん
11/5-9 （日本東京）	小さなカメラマン写真展	**【来場者】**800 人**【後援】**中華人民共和国駐日本国大使館領事部**【協賛】**サッポロホールディングス株式会社、株式会社技術評論社**【総指揮】**鈴木肇**【会場協力】**恵比寿麦酒記念館、株式会社フォンテックツー**【飲料提供】**サッポロホールディングス株式会社**【机イス貸出】**渋谷区立神南小学校**【翻訳】**久保沙登美、井上郁敏、鈴木智恵、大滝美佳、太田益富、大塚由子**【制作】**安達武史、富安朱美、大塚由子、田島伸浩、株式会社技術評論社（水口俊裕、加藤久）**【搬入、搬出】**ＪＲ総連（糸山敏和、鎌田寛司）**【会場】**近藤釼一（名古屋支部長）、林隆史、安達武史、吉村周吾、 富安朱美、番匠基之、

		中村有里子理事、小野保、寺内明子（大宮支部長）、林隆史、ＪＲ総連、ＪＲ貨物労組（佐藤啓、長谷川誠、坂本敬、山口通広）、ＪＲ東海労、狩野千尋、大塚由子**【オープニングパーティご挨拶】**許沢友（中華人民共和国駐日本国大使館・総領事）、東山定弘（恵比寿麦酒記念館館長）その他の皆様。雲南省側で子どもたちの写真撮影をフォローしてくださった、各学校の校長先生や各地教育局、華僑弁公室の皆さん、協会の雲南支部スタッフも大いに活躍してくれました。
11/8 （日本埼玉）	さいたま 国際フェア	昨年に引き続きの出展となりました。**【ボランティア】**寺内明子大宮支部長、寺内憲一、市川由美子、小川輝夫、小野保、川口邦夫、高橋福子、大泉雄、鳥羽清弘、星野京子、丸太智代、松尾ユイ
11/12-15 （中国四川省）	四川省大地震 募金贈呈	**【支援金贈呈・視察参加者】**萩原光廣、平田栄一、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田）**【協力機関】**中華人民共和国駐日本国大使館領事部　総領事・許沢友　領事・劉敬師／四川省人民政府僑務弁公室　副主任・張継勇／国外処処長・洪革／王凌萍／綿陽市人民政府　副市長・孫波／綿陽市委員会、総工会　主席・王倩／綿陽市共産党青年団　書記長・廖雪梅／副書記長・黄駿／綿陽市青少年活動中心　主任・伍軍／教員・顔暁亜（カメラマン）
11/22、23 （日本東京）	東京八王子にて いちょう祭	**【来場者】**　約３０万人**【ボランティア】**小島様（家主・会場提供）　峰尾勝美、峰尾洋子、井上祐子、井上ジャム、鈴木肇、師清史、小野保、初鹿野仁、初鹿野恵蘭理事長、梅本霊邦・七田（東京本部）
11/27 （日本東京）	中国大使館 表敬訪問	協会の活動を日頃から見守ってくださる大使館を表敬訪問しました。 初鹿野恵蘭理事長、岩間辰志顧問
11/30 （日本埼玉）	大宮支部 忘年会	**【参加者】**１９名**【ボランティア】**市川由美子、小俣小輝、長澤雪、寺内明子大宮支部長、寺内憲一
12/20 （日本東京）	チャリティー 忘年会	**【参加者】**１００名**【忘年会ご挨拶】**趙會様（中華人民共和国駐日本国大使館領事部領事）他**【ボランティア】**ＮＯＲＩＮＥ、高山千代美、鈴木晶子、初鹿野仁、大塚由子、狩野千尋、田中江利、小野保（写真撮影）、森川雄一郎＜日本・雲南聯誼協会より＞岩間辰志顧問、片岡巖顧問、小澤文穂顧問、安達武史顧問、中村有里子理事、遠藤功理事、大鷲修平理事、唐澤英安理事、桂正徳理事、初鹿野薫理事、杉谷隆志専務理事、樋口忠治顧問、根岸恒次顧問、東郷浩顧問、曹光顧問、村松健児監事、佃純誠監事、寺内明子大宮支部長、近藤釼一名古屋支部長、初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田・杉本）
2009/1/9 （日本東京）	第２回かめのり 賞授賞式	協会の草の根レベルの国際協力が認められました。賞金 50 万円。【出席者】初鹿野恵蘭理事長、山根祥利顧問、東京本部（七田）
1/19 （日本東京）	中国大使館 華人華僑新春会	**【参加者】**国内の華僑華人と関係者４００名　初鹿野恵蘭理事長
2/25-27 （中国雲南）	雲南省出張	昆明にてＣＤＭプロジェクト会談　初鹿野恵蘭理事長
3/8 （日本東京）	中国大使館 国際婦人デー	**【参加者】**国内の華僑華人と関係者　女性３００名　東京本部（七田）
3/13 （中国北京）	『夢の壁』 制作発表会	北京にて張加貝監督最新作「夢の壁」の制作発表。協会支援校の児童２名が作品に出演します。当協会初鹿野恵蘭理事長はエグゼクティブプロデューサーに。

３、講演会

開催日時	活動内容	参加者名（敬称略・順不同）
2008/8/20 （日本東京）	たまがわロータリークラブ定例会にて、「雲南省少数民族教育現状講演会」実施 初鹿野恵蘭理事長が講師として参加	**【参加者】**約３０名 初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田）
10/24 （日本神奈川）	茅ヶ崎市立中島中学校講演会　初鹿野理事長が昨年に引き続き講師として参加	**【参加者】**（教員生徒）約２００名 初鹿野恵蘭理事長、東京本部（七田、梅本）
11/27 （日本東京）	狛江第５小学校世界を知ろうクラブ出張授業 東京本部七田が講師として参加	**【参加者】**（教員生徒）約３０名 東京本部（七田）、山根祥利顧問、東京たまがわロータリークラブ
2009/3/5 （日本東京）	狛江第一中学校にて「今の中国雲南を伝える」講演会　初鹿野理事長が講師として参加	**【参加者】**（教員生徒）約１００名 初鹿野恵蘭理事長、東京たまがわロータリークラブ、東京本部（七田）

４、教育支援活動

２００８年度は、雲南省の少数民族貧困地域に支援第１７校目の小学校が誕生しました。また、その後２００８年を通して建設を進めてまいりました。支援第１８、１９校目が２００９年４月に開校式を終え、新たな２校も来たる６月の開校式を控えております。また、２００８年度は、雲南省昆明市の女子高校で学ぶ貧困少数民族女子生徒への一対一の就学支援「２５の小さな夢基金」にて、支援を受ける生徒も６０名を超え、軌道に乗り始めました。

その他、学校建設事業フォローアップの一環として始まる、「１００万回の手洗いプロジェクト」の第一回勉強会が開催されるなど、２００９年度の活動へ繋がる大きな飛躍の年となりました。

中国雲南省小学校開校・建設状況図

１００万回の手洗いプロジェクト第一回勉強会
小学校児童や地元住民の自発的な活動の背中を押す、ソフト面での支援活動になる予定

２００８年５月に完成した支援第１７校目「日中友好望峰楼」。壁に安置された記念碑には日本からの支援である旨が刻まれた

開催日時	活動内容・参加者（敬称略・順不同）
4/19 （雲南省昆明）	２５の小さな夢基金　第２回支援金贈呈式実施 **【参加者】**東京たまがわロータリークラブ（法人会員）メンバー8 名、初鹿野恵蘭理事長
5/25-6/4 （雲南省）	第１７校目茂頂小学校「日中友好望峰教学楼」落成式参列の旅 **【参加者】**峰尾勝美、峰尾洋子、河本洋之介、佐藤福久、安達武史、金田絢子、新木元治、江角英之、平田栄一、岩田毅、岩田祥子、野見山博、早出昭雄、上野正子、東京本部（七田）、雲南支部（林）、他会員２名 **【現地パートナー】**雲南省僑務弁公室、香格里拉県華僑弁公室主任・李雪英、香格里拉県教育委員会他、小学校の児童、教員、村民の皆さん
2009/3/6 （日本東京）	「１００万の手洗いプロジェクト　第一回勉強会」実施**【参加者】**１１名　齋藤順子（講師）、薄田榮光プロジェクトマネージャー、初鹿野理事長、東京本部（七田、杉本、上田）

※　当協会の小学校建設事業は、建設費用を支援金と現地政府との折半で行っており、建設工程においては雲南省人民政府僑務弁公室、雲南省帰国華僑聯合会をはじめ、現地人民政府教育局、現地村民や子供達の家族からの多大なる協力のもと、一緒に力を合わせて進めています。

ＮＰＯ法人 日本・雲南聯誼協会正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

（金額：円）

科　　目	金　　額						
Ⅰ　増加原因の部	東京本部	雲南支部	合計	東京本部	雲南支部	合計	
1　　会費収入						5,454,120	
正会員				2,168,500	9,120	2,177,620	
賛助会員				586,000	0	586,000	
法人会員				729,000	0	729,000	
25の小さな夢基金				1,961,500	0	1,961,500	
2　　寄付金収入				21,918,762	0	21,918,762	
3　　雑収入							
雑収入							
受取利息				7,363	0	7,363	
4　　その他の収入							
事業収入（本来事業）				1,260,757	66,880	1,327,637	
合　計（A）							28,707,882
Ⅱ　減少原因の部							
1　　事業費			15,587,301				
学校建設事業							
第17校目建設費後期	1,000,000	0	1,000,000				
第17校目机と椅子支援	400,000	0	400,000				
第18校目建設費	3,000,000	0	3,000,000				
第19校目建設費	3,000,000	0	3,000,000				
25の小さな夢基金　32名分	480,000	0	480,000				
学校視察、開校式の旅	898,611	665,807	1,564,418				
中国民族文化・物産の紹介	923,964	218,919	1,142,883				
災害支援金	5,000,000	0	5,000,000				
2　　管理費			11,135,007				
給与（職員）、賃金（パー	4,643,824	777,197	5,421,021				
旅費交通費	812,329	239,713	1,052,042				
福利厚生費	665,585	0	665,585				
電話通信費	567,996	108,551	676,547				
交流会費	138,482	0	138,482				
事務消耗品費	525,599	102,020	627,619				
広告宣伝費	1,509,100	0	1,509,100				
支払い手数料	13,578	0	13,578				
会議費	67,694	0	67,694				
租税公課	0	0	0				
賃借料	0	706,781	706,781				
水道光熱費	0	26,212	26,212				
研修費償却費	0	0	0				
雑損失	50,558	0	50,558				
雑費	0	175,488	175,488				
為替差損	0	4,300	4,300				
合　計（B）	23,697,320	3,024,988					26,722,308
当期正味財産増加額（A）－（B）							1,985,574
前期繰越正味財産額（C）							11,040,229
期末正味財産合計額（A）－（B）							13,025,803

2008年度　会計収支の決算を致しました。

平成21年3月31日

理事長　　初鹿野　恵蘭

会　計　　七田　怜

上記、決算を監査したところ、正確適正であることを確認致しました。

平成21年5月22日

２００９年度　日本雲南聯誼協会事業計画案（２００９年４月１日～２０１０年３月３１日まで）

１　事業実施の方針　日本と中国の友好を願う人々に対して、中国の教育の推進を図る為、学校建設とその後のコミュニティ形成を支援する。
２　事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施予定時期	実施予定場所	従事者予定人数	受益対象者範囲及び予定人数	支出見込み額（円）
学校建設	雲南省に学校を建設	19 校目机・椅子・ベッド	雲南省楚雄イ族自治州	30 人	200 人	450,000
		20 校目（6 月完成予定）	雲南省麗江市	30 人	120 人	3,000,000
		21 校目（9 月完成予定）	雲南省昆明市	30 人	150 人	3,000,000
		22 校目（12 月完成予定）	雲南省文山壮族苗族自治州	30 人	130 人	3,000,000
学校建設（視察・フォローアップ）事業	小学校建設予定地視察	2009 年 4 月	雲南省昆明市	5 人	400 人	300,000
	小学校建設予定地視察	2009 年 5 月	雲南省文山壮族苗族自治州	5 人	400 人	300,000
	「25 の小さな夢基金」	2009 年 4 月、6 月実施	雲南省昆明女子中学	20 人	100 人	720,000
	「100 万の手洗いプロジェクト」（公衆衛生プロジェクト）	2009 年 6 月～2010 年 12 月	怒江リス族自治州、建水県他小学校と周辺村	50 人	15000 人	9,276,897
開校式ふれあいの旅	第 18、19 校目小学校開校式	2009 年 4 月 17 日～23 日	雲南省臨滄市、楚雄州	30 人	500 人	300,000
	第 12、20 校目小学校開校式	2009 年 6 月 27 日～7 月 4 日	雲南省思茅市、麗江市	30 人	500 人	300,000
	第 21 校目小学校開校式	2009 年 9 月	雲南省昆明市	20 人	150 人	250,000
	第 21 校目小学校開校式	2009 年 12 月	雲南省文山壮族苗族自治州	30 人	130 人	250,000
雲南省民族文化・物産・協会の活動紹介	第二回小さなカメラマン写真展 in 羽村	2009 年 8 月 6 日～9 日	日本・東京	40 人	1000 人	50,000
	さいたま国際友好フェア出展・広報活動・雲南説明	2009 年 5 月 3 日～4 日	日本・埼玉	10 人	500 人	30,000
	第五回チャリティーゴルフコンペ	2009 年 11 月	日本・東京	20 人	100 人	100,000
	グローバルフェスタ出展・広報活動・雲南説明	2009 年 10 月	日本・東京	40 人	500 人	50,000
	八王子いちょう祭り出展・広報活動・雲南説明	2009 年 11 月	日本・東京	40 人	500 人	50,000
	協会 10 十周年記念事業	2010 年 6 月	日本・東京	20 人	150 人	200,000
講演活動	岡女史講演「夢を語る」	2009 年 5 月	雲南省昆明女子中学	10 人	170 人	20,000
	発展から取り残された子どもたち	2009 年 6 月	東京・工学院孔子学院	10 人	50 人	50,000
	教職員のための夏季教育講座	2009 年 8 月	神奈川県高等学校教育会館	5 人	50 人	20,000
	山岳地帯に暮らす少数民族の子供たち	2009 年 8 月	東京羽村生涯学習センター	5 人	100 人	20,000

第4号議案

ＮＰＯ法人日本・雲南聯誼協会　2009年度予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

（金額:円）

科　　目	金　　額		
Ⅰ　増加原因の部			
1　会費収入		5,514,000	
正会員（442名）		2,652,000	
賛助会員（54名）		648,000	
法人会員（43社）		774,000	
25の小さな夢基金（48名）		1,440,000	
2　寄付金収入		22,776,897	
3　雑収入		58,000	
雑収入		50,000	
受取利息		8,000	
4　その他の収入			
事業収入（本来事業）		400,000	
合　計（A）			28,748,897
Ⅱ　減少原因の部			
1　事業費	21,736,897		
学校建設事業			
第19校目机と椅子、ベッド	450,000		
第20校目	3,000,000		
第21校目	3,000,000		
第22校目	3,000,000		
25の小さな夢基金	720,000		
100万の手洗いプロジェクト	9,276,897		
学校視察、開校式の旅	1,700,000		
中国民族文化・物産の紹介	590,000		
2　管理費	15,081,000		
給与（職員）、賃金（パート）	10,360,000		
旅費交通費	900,000		
福利厚生費	700,000		
電話通信費	700,000		
交流会費	200,000		
事務消耗品費	630,000		
広告宣伝費	600,000		
支払い手数料	15,000		
会議費	50,000		
租税公課	0		
雲南支部家賃	700,000		
水道光熱費	26,000		
雑損失	0		
その他費用	200,000		
合　計（B）			36,817,897
当期正味財産増加額（A）－（B）			-8,069,000
前期繰越正味財産額（C）			13,025,803
期末正味財産合計額（A）－（B）＋（C）			4,956,803

第５号議案

特定非営利活動法人　日本雲南聯誼協会定款の一部改正（案）について

新旧対照条文

現　　行	改 正 後
(目的) 第３条　この法人は、日本と中国の友好を願う人々に対して、教育及び文化に関する事業を行い、平和と発展に寄与することを目的とする。	(目的) 第３条　この法人は、日本と中国の友好を願う人々に対して、教育、文化、健康、及び環境に関する事業を行い、平和と発展に寄与することを目的とする。
(特定非営利活動の種類) 第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。 （１）　社会教育の推進を図る活動 （２）　文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 （３）　人権の擁護又は平和の推進を図る活動 （４）　国際協力の活動 （５）　子供の健全育成を図る活動 （６）　以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動	(特定非営利活動の種類) 第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の種類の特定非営利活動を行う。 （１）社会教育の推進を図る活動 （２）文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動 （３）人権の擁護又は平和の推進を図る活動 （４）国際協力の活動 （５）子供の健全育成を図る活動 （６）保健、医療又は福祉の増進を図る活動 （７）環境の保全を図る活動 （８）以上の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動
(事業の種類) 第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。 (ア) 日本及び中国の実地見学及び研修会･交流会を実施する。 (イ) 日本及び中国の民族文化や科学技術及び農業技術を紹介する。 (ウ) 中国の教育の推進を図る為、小学校建設を支援する。 (エ) 日本及び中国の物産の紹介 (オ) 日本語及び中国語教室の開催	(事業の種類) 第５条　この法人は、第３条の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。 (ア)日本及び中国の実地見学及び研修会･交流会を実施する。 (イ)日本及び中国の民族文化や科学技術及び農業技術を紹介する。 (ウ)中国の教育の推進を図る為、小学校建設を支援する。 (エ)日本及び中国の物産の紹介 (オ)日本語及び中国語教室の開催 (カ)日本及び中国の保健医療技術を紹介する。 (キ)日本及び中国の環境保全技術を紹介する・
(総会での表決権等) 第２８条２　やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。	(総会での表決権等) 第２８条２　やむを得ない理由により総会に出席できない正会員は、あらかじめ通知された事項について、書面又は電磁的方法をもって表決し、又は他の正会員を代理人として表決を委任することができる。

※　第3、4、5、28条の変更については所轄庁の認証を受ける必要があります。